

## 1 キッカケ沢土石流災害の発生によるその後の対応について

南信森林管理署 総括治山技術官 ○大久保 秀一  
主任治山技術官 高橋 進  
一般職員 城内 優希

### 1. 課題を取り上げた背景

平成 30 年 10 月 1 日の台風第 24 号に伴う豪雨により、長野県諏訪郡富士見町西嶽国有林 1336 林班・編笠山国有林 1337 林班境のキッカケ沢が標高 2400m 地点からの土石流発生により、本流部が閉塞し、流路が変わり下方の富士見高原ゴルフコースを横断し、県道に土砂が流れこむ等の被害が発生しました。その後新たな土石流による被害を未然に防止するための対策を地元自治体等関係機関と連携し実施しました。



### 2. 取組の経過

#### 『平成 30 年度取組』

(1) 10 月 1 日の朝、土石流被害発生 一報を受け、南信森林管理署職員による現地状況の確認。

(2) 10 月 2 日、南信森林管理署職員、富士見町担当者、ゴルフ場職員、諏訪地域振興局担当者の 4 者で現地確認を行い今後の方針を決定。

(3) 10 月 3 日から 5 日にかけて、キッカケ沢が氾濫した箇所の流れを本流に戻すため、現地の土石を材料とする簡易な護岸工および国有林からの流木等により閉塞したクラブハウス駐車場横の暗渠工の流木を取り除く応急対策を実施。

(4) 今後の降雨による被害が予想されることから、護岸工を強化することを目的とする大型土のうを設置するとともに、本流部の流れをせき止める状態の巨石を破碎するなど、スムーズな流れを確保するための緊急工事を 10 月 11 日から 12 月 18 日にかけて実施。

(5) 10 月 10 日と 13 日、関係地元団体等からの問い合わせに対する電話説明。

(6) 10 月 18 日、県担当者・関係機関と合同による現地調査および現地説明。

#### 『平成 31 年度・令和元年度取組』

(1) 平成 31 年 2 月 14 日から令和 2 年 2 月 28 日までの期間で荒廃現況調査等を実施し、キッカケ沢上流域の治山計画について策定に取り組む。

(2) 令和元年 7 月 31 日水源かん養保安林の指定の上申(令和元年 11 月 11 日予定告示)

(3) 令和元年 9 月 3 日から令和 2 年 3 月 25 日までの工期でコンクリート床固工およびコンクリート護岸工を施工。

### 3. 実行結果

施工後降雨の際、濁流が確認されていますが、河川の氾濫は確認されなかったことから、緊急工事の施工効果が発揮されたと推察されます。



緊急工事の施工効果

### 4. 考察

今回地元自治体等関係者をはじめとする迅速な対応により、応急対策・緊急工事を実行することができました。またゴルフ場も平成 30 年 10 月 11 日から部分営業を再開し、平成 30 年 11 月 3 日からは、全ホールによる営業を再開するなど被害直後からの国有林の対応により、復旧が早く進んだことに対して地元関係者からも感謝の言葉をいただいています。今後も地元自治体等関係機関に本格的な復旧治山計画を説明するなどより緊密な連携を図りながら、治山事業を進めてまいります。